

売り手の言葉選びと買い手の解釈とのギャップ

みなさん、こんにちは。

穀物繊維をテーマに雑穀・大麦・シリアルを提案しています
ライスアイランドメールマガジン♪

さて、先日の記事でおいしさを感じる「オノマトペ」について取り上げました。
今回は「買いたくなる売り言葉」について発信します！

■ありのままを保証する言葉

売り手と買い手の心理戦が繰り広げられる食品売り場。

いかに商品をおいしそうに見せるか、味覚に訴える言葉による

「情報」は武器の一つでもあります。

そそられる言葉、おいしそうに聞こえる言葉・・・

～買いたくなる食品の売り言葉ランキング～

1. 産地直送
2. 新鮮な
3. 季節限定（期間限定）
4. 無添加
5. 旬の
6. 天然の
7. 無農薬
8. 産地限定
9. 焼きたて
10. とれたて

上位には「新鮮」「産地直送」「旬」などの似たような言葉がランクイン。

・これら以上に説得力のある言葉はない

・おいしさのピークを示す言葉と言える

という意見があるようです。

他には「限定」を示す言葉がランクイン。

期間限定、地域限定という文字を見ると

欲しいと思っていなくても買ってしまうという方も多いようです。

(この気持ち分かります。特に女性だと多いのではないのでしょうか・・・)

■同じ言葉でも異なる印象

同じような言葉でも微妙な語感で差がつきます。

食べ物の売り文句といってもどんな食品かによって

イメージは異なります。

例えば和菓子や漬物を想定して「これなら買いたい」と思うもの。

「老舗の」「秘伝の」という言葉が上げられます。

創業以来、何十年も、何代も続いたという長い伝統を感じさせる言葉ですよ。

ただ「秘伝の」というワードは、

同時に「信用できない言葉」の1位になったそうです・・・

・「秘伝」とは何をもってそう言えるのか分からない

・特色のない商品にとりあえずつけてみましたという感じがする

という理由から。抽象的な言葉だと信用しにくいという結果も。

対象となる食品によっては、イメージがだいぶ変わるようです。

■無農薬には厳しい見方、意見も

「無農薬」「無添加」については、

農作業の経験がある方から厳しい指摘が多いという。

・無添加、無農薬は好きだけど、そう書いてあるだけでは信用しない

・本当に無農薬を実現するにはそう簡単なことではない

・本当に無農薬なのか信じられない

という厳しい目が向けられているのが現実です。

食品偽造事件を経て、不信感を強く持っている人が多いようです。

これならおいしいそうに聞こえる、購買意欲を高めるワードにしても

売り手の発する情報を100%真に受ける人は今や少ないのが現状のようです。

言葉選びというのは、なかなか簡単なものではないのです。

■ライスアイランドがおすすめする商品

テレビで放映されており、いまトレンドのアイテムです！

・milky オートミール

クイックタイプのオートミールです。

さっとミルクをかけて、ヨーグルトをかけて食べられます。

とろみをつけて和風な味付けでお粥にも。

牛乳に浸したオートミールをパンケーキの生地にして

ヘルシーオートミールにも♪

内容量／500g

・multi オートミール

しっかりとした厚みのオートミールです。

お米の代わりに主食としてお召し上がりいただけます。

電子レンジで加熱しておかずと一緒に、

オムライス、お好み焼きなどの腹持ち抜群ガッツリメニューにも。

内容量／500g

株式会社ライスアイランド

(岐阜本社) 岐阜県岐阜市香取町3丁目38番地

TEL 058-253-0303 FAX 058-252-5115

(東京営業所) 東京都千代田区有楽町2-10-1 交通会館1F

TEL 03-5288-7700 FAX 03-5288-7701

※アンテナショップ【穀物繊維倉庫】も併設！

